2019 年 8 月 27 日

4K 放送（新４K 衛星放送）の映像が暗い

4K 放送（新４K 衛星放送）は、 HDR(ハイダイナミックレンジ)[※1] の HLG[※2] 方式に対応しており、映像の明暗表現力（コントラスト）が高まっていますが、シーンによっては映像が暗く感じる場合があります。
また、4K 非対応のカメラで収録した映像を４K にアップコンバートしている従来（過去）の番組は、BS デジタル放送(2K)と比較し暗く感じます。
テレビの不具合ではありません。
映像が暗く感じる場合は、映像調整で、AV ポジションを「ダイナミック」に変更することで緩和される場合があります。

番組表で【４K】と表示のある番組は、４K カメラで収録した番組ですので、HLG 本来の映像の明暗表現力や、映像の奥行感を感じることができます。

＜AV ポジション変更手順＞
リモコンのツール（映像調整）ボタンー「映像調整」ー「AV ポジション」ー「ダイナミック」
※１　カメラ側で撮影時に従来より広い輝度情報を収録し、テレビ側で復元する技術。
※２　Hybrid-Log-Gamma（ハイブリッドログガンマ)の略。